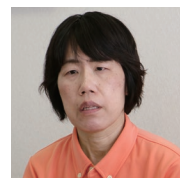




看護師長 原田氏



介護主任 田中氏



リフレスマートラインのパッドタイプ、スマートキャッチをお使いいただいている、広島県東広島市の「社会福祉法人 葵新生会 特別養護老人ホーム 新生園」様にご訪問させていただきました。母体である葵会グループは、「治す」と「防ぐ」を高いレベルで両立する進化した医療を目指し、病院、介護老人施設、がんPET健診センター、クリニック、グループホーム、居宅介護支援事業所、大学、専門学校、保育園など、全国に関連事業所を展開しております。今回はスマートキャッチの採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、看護師長の原田さん、介護主任の田中さんにインタビューしました。

## お肌のことを考えた スマートキャッチ パッドタイプ

導入いただくまでの経緯を  
教えていただけますか？

原田 「ご利用者さんの中に皮膚状態が良くない方がいらっしやって、リフレサポーターさんにパッドの見直しを相談していました。そこで従来のおむつよりもさらさら感があり、スキントラブルの原因を未然に防ぐことができるとご紹介いただき、スマートキャッチを導入することになりました」

ありがとうございます！スマートキャッチ  
を見た印象はどうでしたか？

田中 「スマートキャッチという名前だけあってすごく細く見えました。その印象から本当に吸収するのかな…という不安もありましたが、尿量の多い方でもモレずにしっかり吸収してくれました。ご利用者さんにあててみると従来のパッドよりもソケイ部にフィットして、すごく綺麗にあてることができています」



## ムレなく快適 スマートキャッチ

スマートキャッチを使用して  
効果を実感されたことはありますか？

田中 「4～5年前からスキントラブルを繰り返している方がいらっしやったのですが、車



椅子に乗る時も痛いところを避けるように座ってしまい、姿勢も悪くなって…。おむつの交換回数を増やしたり、薬を変えてみたりしたのですが、継続してケアを行っていても効果が出ないので職員のモチベーションも下がっていました。その方にご紹介いただいたスマートキャッチを試してみると、湿潤環境が改善されたのか、ご利用者さんの皮膚状態が良くなって職員もビックリしていました」

原田 「見た目のうすさに職員も不安に感じていましたが、ご利用者さんのことを思えばスマートキャッチのようなすくて通気性の高い商品を使った方がムレも少なく、快適に過ごせるんだと思いました。今後他のご利用者さんにもスキントラブル予防を考えて、スマートキャッチを使用していきたいと考えています」

## 快適な 排泄ケアに向けて

スマートキャッチで  
お悩みを解決できて嬉しく思います。  
現在排泄ケアで  
取り組んでいることはありますか？

田中 「夜間の交換回数を減らして安眠を促すようなケアをしています。以前は1日8回位交換していて、常におむつ交換に追われていました。現在はスマートキャッチのような性能の高い商品を取り入れたこともあって、4回～5回位まで交換回数を減らすことができましたね」

原田 「交換回数を減らすことでご利用者さんの快適な生活につながりますし、職員にとっても時間に余裕ができて、日々の業務が丁寧になりました。また、ご利用者さんとのコミュニケーションやレクリエーションの時間にあてることができたのも良かった点です」

今後の施設の  
目標はありますか？

原田 「ご利用者さんの介護度も重度化しており、以前よりおむつが必要な対象者が増えているように感じます。今後もリフレサポーターさんのおむつの勉強会を定期的実施して、新しい商品や情報を取り入れてケアを行っていきたくですね。将来的には職員がコスト意識を高く持って、ケアに取り組んでいきたいと考えています。おむつ1枚の重要性を意識していれば、職員のあて方の意識も変わりますし、自然とご利用者さんに合ったおむつを使うことができると 생각합니다」



ありがとうございます！  
今後も、スマートキャッチを  
お試しいただける機会が増えることを  
楽しみにしています♪  
本日は色々とお話を聞かせていただき、  
ありがとうございました！

